

## 情報公開文書 作成：2022年10月7日

1. 研究の名称  
閉塞性肺疾患における胸部 CT で評価した画像指標と、疾患の病態・予後に  
関する研究
2. 倫理審査と許可  
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の  
審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名（試料・情報の管理について責任を有す  
る者の氏名）  
京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学 助教 小熊毅
4. 研究の目的・意義（試料・情報の利用目的・利用方法）  
現在呼吸器内科学講座では、2006年4月1日から2020年3月31日に京都  
大学医学部附属病院を受診し、胸部の CT 撮像歴を有し、かつ閉塞性肺疾患  
に関する診療記録が存在する患者さんを対象として、気道内粘液栓を含む画  
像指標と血液検査・呼吸機能・治療内容・予後などとの関連に関する調査を  
行っています。本研究の目的は、胸部 CT における気道内粘液栓が、その他  
の画像指標や閉塞性肺疾患の病態・予後などどのような関係があるかを明  
らかにし、実際の診療に役立てるためです。
5. 研究実施期間  
研究機関の長の実施許可日から2026年3月31日まで。
6. 対象となる試料・情報の取得期間  
2006年4月1日から2020年3月31日の間に当院の喘息外来を受診した満  
18歳以上の喘息患者さんの内、胸部を含む CT の撮像歴がある患者さん。
7. 利用または提供する試料・情報の項目  
年齢・性別・疾患の重症度・罹病期間・症状・使用薬剤・呼吸機能・血液検  
査・胸部 CT 画像などの結果を電子カルテより収集し、統計的な処理を行う  
ことで、気道内粘液栓とその他の画像指標や検査結果などとの関係を調査し  
ます。

8. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法  
患者さんが研究への参加を希望されない場合、得られた情報の研究への利用をいつでも停止することができます。研究に不参加となった場合も、患者さんに不利益が生じることはありません。

9. 研究資金・利益相反

本研究の費用は京都大学呼吸器内科の運営費交付金によっています。本研究は特定の企業からの資金提供を受けていません。また、利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

10. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

(ア) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学

助教 小熊 毅

Tel: 075-751-3830

(イ) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

Tel: 075-751-4748

E-mail: [ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp)